

はじめに

鳥取県教育委員会では、平成16年5月に策定した「鳥取県幼児教育振興プログラム」を平成24年度に改訂し、幼児教育の充実に向けた今後の方向性や取組を示した「鳥取県幼児教育振興プログラム（改訂版）」を策定しています。

このたび、前記プログラムに基づき、幼保小の相互理解と、連携による教育の充実と一層の推進をめざし、円滑な接続を進めるための『鳥取県幼保小連携カリキュラム』を開発しました。

本県では、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校、高等学校、大学等の校種間連携による一貫性のある教育の実現をめざした「スクラム教育」に取り組んでいます。校種間でつながりのある教育を行うことを通して、鳥取県の未来を担う健やかな子どもたちの育成をめざしています。

県内においては、幼児期の教育と小学校教育の連携も徐々に広がりを見せ、着実に進んでおり、幼児教育・保育、小学校教育の充実に向け、さまざまな取組が行われています。今後、教育内容や教育方法等について、さらに相互理解を深め、幼児教育・保育、小学校教育の質的な充実を図る取組が求められています。

このカリキュラムには、本県のめざす幼児の姿である「遊びきる子ども」につながる各年齢におけるめざす姿を紹介しており、その姿に向けて、保育を展開していくうえでの活動事例や、幼児教育・保育と小学校入門期の教育内容や指導方法等の学びのつながりも示しています。

子どもの遊びは、成長や発達にとって重要な体験がたくさん含まれている幼児期にふさわしい学びであり、幼児期は、その学びの質を高めていくことが重要です。また、小学校入門期は、幼児教育・保育の成果を踏まえ、学校生活への適応を進めていくことが求められ、子どもの発達や学びの連続性を踏まえながら教育を行うことが、義務教育及びその後の教育の基盤をつくることにつながります。

このカリキュラムが、教職員の幼児教育・保育と小学校教育の相互理解を進め、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続と幼児教育・保育及び小学校教育の充実に向け、積極的に活用されることを心から願っています。

最後になりましたが、本カリキュラムの作成にあたり、御尽力いただきました皆様に、深く感謝申し上げます。

平成26年3月

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一